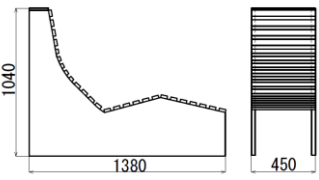


【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを、文章、写真、図などで説明。この用紙1枚に記入し、PDF ファイルに変換した後、ホームページに貼り付けてください。

学校名	東京学芸大学	個人・グループ名	金宗 大貴	作品名	Chair for Movies
			製作動機・目的 私は一人暮らしをしており、映画鑑賞を趣味にしています。より快適で映画に集中できる椅子を探していましたが、なかなか自分の身体にフィットするものがありませんでした。そのため、座っていても苦にならずに映画を楽しめる椅子を欲していました。そこで、自分自身の身体に合わせた椅子を製作しようと思い、完全にオーダーメイドの自分専用の椅子を製作しました。 つまり、コンセプトは自分自身によるオーダーメイド！！		
			工夫点 1. 人間工学の視点を取り入れた座面形状！ 設計の段階で人間工学をベースに、人間の前方への視界を保ったままリラックスできる座面の角度や高さ、曲線等を考察して設計を行いました。そして私自身の身長・座高・脚の長さ等を考慮し、検証を繰り返し理想的な座面の角度や寸法を導き出しました。		
2. 限られた空間をフル活用！ フロblem 一人暮らしの部屋には大きい！ ↓ ソリューション 3 つに分割して、それぞれ日常生活において独立した機能を持たせた！			 図 人間工学から導き出された座面形状  利用イメージ 快適に映画鑑賞している私		
 新書や漫画、教科書等が置けるようにそれぞれの棚の寸法を決めました。また、バッグ等の物も置ける多用途な棚になるよう工夫しました！  棚 棚に物を入れると重くなるので、キャスターによってスムーズに動かせます！ブレーキも付いているので固定もできます。			 連結部分にかかる荷重も考慮し、簡単に連結できる仕組みにしました！  読書をするとき等、普段使いの椅子に！ 腰掛け		
 強度と意匠性を両立したサイドテーブル！ サイドテーブル			利用イメージ 日常生活の私 		
これによって、日常生活に潤いが！快適な映画ライフが手に入りました(´o`)／					